

令和5年度 特例の教育課程の実施状況などについて

名護市立 久志小学校

1. 学校・市町村概要

・教育目標: やさしく たくましく 英知を磨く 緑風の子
9年間の義務教育における系統的・継続的な学びを通して、豊かな感性と知性を育み、自らの将来に夢や憧れを抱きながら、志をもってたくましく生き抜く児童生徒を育成する。

・所在地 沖縄県名護市汀間122番地
名護市立小中一貫教育校 緑風学園（久志小学校・久志中学校）

・児童数（令和4年3月1日時点）

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	20	12	9	15	23	16	12	107	16	18	17	8	59	166
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10	1	1	1	4	7	17

○名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

小中一貫教育校の特色を生かし、9年間の系統的・継続的な英語教育を推進する。小学校第1学年から英語に慣れ親しませ、中学校への滑らかな継続を図る。言語や文化に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力や英語を活用する力を育てる。

取組内容

- 小学校第1学年34時間、小学校第2学年35時間の「英語活動」の授業を実施する。
- 全児童生徒によるEnglish day（毎週木曜日）を実施する。
例：挨拶・授業の号令・給食時の校内放送などを英語で行う
- 毎週木曜日の朝活動に、English Time（15分）を位置づけ、実施する。
例：小学部はEnglishチャンネルをしオンライン上で異学年交流を図った。7,8,9年生 英検対策



ハロウィン
1・2年生合同学習



クリスマス
幼稚園・1年・2年
お楽しみクリスマス



5年生
3・4年生とプレゼン
お楽しみやりとり



7年生
スキットコンテスト



6・7年
インドネシア交流
FIFA world cup

3. これまでの成果と課題、今後の取り組み

- 異学年交流を通して、先輩の英語を話す姿が憧れとなり、児童の学習意欲の向上につながった。
- 内容やまとまりのある単元を合わせて指導した。（プロジェクト学習）
- 単元を増やして、名護市のゴールに迫る内容を付け加えて学習できた。（スキットの実施）
- 中学生はchromebookを活用した授業を行い、音読指導の他、トルコ・韓国・台湾など外国の生徒との交流を行うことができた。
- ▲異学年交流では、交流学年に偏りがあった。
バランスよく異学年交流が実施できるよう、単元の関連を見通した年間計画を作成した。次年度は計画をもとに小中一貫校の特色を生かして実践していきたい。